

エルマーとリゅう

～カナリア島のぼうけん～



イラスト / 林 由未

2024年**2月10日**[土]13:30開場・14:00開演
枚方市総合文化芸術センター 関西医大 小ホール

入場無料

●おおよね4歳以上(小学生以下は保護者同伴。3歳未満は膝上鑑賞)
平成17年(2005年)4月2日以降生まれを優先。
※1つの申し込みは5人まで。1人1通限り。保護者は子どもの数をこえないこと

申し込み方法

往復はがきに代表者の住所・電話番号・参加希望者の全員の氏名・年齢・
イベント名「エルマーとリゅう」を書いて以下の住所までお申し込みください。
〒573-1191 大阪府枚方市新町2-1-60 枚方市総合文化芸術センター宛

締め切り日

12月28日消印有効

※応募者多数の場合は抽選となります。当落結果は1月下旬ごろはがきにて
お知らせとなります。

主催：ひらかた人形劇フェスティバル実行委員会 共催：枚方市総合文化芸術センター指定管理者 アートシティひらかた共同事業体
問い合わせ：枚方市総合文化芸術センター tel.072-845-4910 休館日：第4火曜日※祝日を除く、年末年始12/29～1/3

会場/関西医大 小ホール(枚方市駅 徒歩5分)



エルマーとりゅう

原作／R・S・ガネット 翻訳／渡辺茂男（福音館書店刊） 脚色・演出／柴崎喜彦
美術／林 由未 音楽／富貴晴美 照明／芦辺 靖 音響効果／川名 武 振付／ASUKA Yazawa
舞台監督／亀井佑子 制作／西本勝毅

りゅうを助けたエルマーは、相棒の猫のミニと3人でどうぶつ島を飛び立ちました。次なる冒険の舞台は、カナリア島。なんでも知りたがる「しりたがりのびょうき」のせいで島中は大騒ぎ。

相手を知ってどんなこと？ 島に隠された宝の謎へ挑む中で、エルマーとりゅうの心のふれあいを描きます。

唯一無二の宝 柴崎喜彦

私はこの仕事をしているおかげで、いろいろな人に会うことができます。単純な性格なので、人との関係は自分が良いように解釈しがちですが、本当のところは違うのでしょうか。ずっと一緒にいる人でさえ完全に理解できないのだから、自分の物差しを超えた人とは、まったく未知の世界を手探りで歩いていくようなものでしょう。でもそれこそが、創造の力の源になっていると感じています。

エルマーは「ぼうけん」を通して、動物たちの好奇心を満たし、悩みを解決し、望みを叶えていくことで、関係を築いていきました。それは当初望んだ関係ではなかったと思うけれど、それぞれが自分の希望を成し遂げます。では、望みの先にあるものって…なんなんでしょうね、エルマー君？

前沢明枝さんの著作『「エルマーのぼうけん」をかいた女性 ルース・S・ガネット』には、こんなエピソードが紹介されています。ゴミの分別ができない若者を、



ガネットさんが叱咤したときのこと。若者は彼女に言われてゴミを出しただけで、やり方については何も知りませんでした。ガネットさんに教わって、その若者は回収車来るのをきちんと見届けたというのです。

ガネットさんにとって大切なものとは？ それは、人と関わってトラブルになることを恐れる気持ちではなく、人をおもんばかり、人を不憫に感じる気持ち。そして彼らの未来に託した想いだったのではないのでしょうか。

そう。人との関係は、嫌な思いをすることもあるし、傷をつけたりつけられたり、面倒なこともたくさんあるけれど、それでも、それ以上に、面白くて興味深くて、とても素敵なことだと思いませんか？

「みんな仲良しでいられればいいのに」
人を思いやる心、それが本当の宝物かもしれません。

出演者 / 滝本妃呂美 野田史図希 亀井佑子
長瀬円美 遠田香苗 四方隆互

35thひらかた人形劇フェスティバルプレフェスティバル

2024年2月10日(土) 11:00～

- 1 人形を作るコーナー、人形劇を体験するコーナーを当日11時から開催。
- 2 当選はがきをお持ちのこどもを対象に、公演終了後、人形劇プークとの交流
※詳細は当選はがきをご確認ください。

35thひらかた人形劇フェスティバル

2024年3月9日(土)・10日(日)

枚方市立牧野生涯学習市民センター
問い合わせ：ひらかた人形劇フェスティバル実行委員会事務局（牧野生涯学習市民センター内）
電話：050-7102-3137 FAX：072-851-2566



原作者ガネットさん

今年100歳の誕生日を迎えられました！

2018年夏に来日、シリーズ第1作目の『エルマーのぼうけん』をご観劇下さいました。

